

突然ですが、「カタツムリの殻の巻き方は、右巻きか、左巻きか？」

皆さんは、ご存知ですか？

実は、カタツムリの殻の巻き方には、右巻きと左巻きの両方があり、そのうち右巻きの方が圧倒的に多いのだそうです。そんなこと、私は、全く知りませんでした。知らないどころか、興味すらありませんでした。

ところが、最近、ひょんなことから、東京大学大学院理学系研究科特任助教 細将貴（ほそ まさき）氏の「右利きのヘビ仮説」という名の研究を知りました。これは、琉球列島に生息する右巻きのカタツムリが、カタツムリを捕食するヘビから逃れるために左巻きへと進化したというもので、とても興味深いものでした。

だいたい、手や腕のないカタツムリの「右巻き・左巻き」や、ヘビの「右利き・左利き」と言われても、ピンと来ないのですが、細氏は、「カタツムリの場合は、貝殻が右に巻いているか左に巻いているか、ヘビの場合（一部のヘビ）は、口の右側で獲物を食べるか左側で食べるかという違いで、『右利き・左利き』が言える」と、わかりやすく説明しています。

実際、カタツムリを左巻きに進化させた、右利きのヘビの研究は、意外な共進化※の例を発見したとして、世界を驚かせました。（※共進化とは、2種類以上の生物が、捕食、寄生、共生などの関係を通じ、互いに影響を及ぼしながら進化していくこと）

さて、夏休みが近づいてきました。

私は、夏休みといえば、真っ先に自由研究が頭に浮かびます。

それは、「好きだから」ではなく、自由研究で「苦しんだ」という嫌な思い出があるからです。

しかし、なぜ、子どもの頃、あんなに自由研究に苦しんでいたのか・・・。

今更ながら昔を振り返ってみると、今回の研究から気づくことができました。

細氏の研究に対し、「えっ？なぜ？そんなこと？」などと、つい思ってしまう感覚があったからです。当時の私の感覚では、知的好奇心が働かず、きっと苦しかったに違いありません。

とは言え、もうあの頃の自分には戻れませんが、せめて今からでも・・・。

「ねえねえ！カタツムリの殻って、全部同じ方向にぐるぐるしているのかな？」

そんな風に子どもに聞かれたら、一緒にわくわくできる大人でありたいと思います。  
そして、「面白いところに気づいたよね～。一緒に調べてみようか！」  
などと言えたら、今でも自由研究を楽しめるような気がしてきました。

さて、自由研究のテーマですが、やはり知的好奇心が生まれるような、身近な疑問や不思議なことを取り上げるのがいいようです。お子さんの素朴な「なぜ?」「どうして?」を、大切にしたいものですね。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

#### 【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」  
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

#### 【紹介からの登録手順】

アドレス [kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp) をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^\_^)/

\*\*\*\*\*

#### 【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索